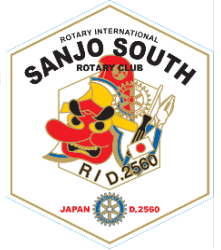




# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2021-22 クラブテーマ **継続こそ前進。**

2021. 10. 4

第一例会

No.2392 No.8



## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

平松 修之

こんにちは。10月になりました。30日に緊急事態宣言も解除され、新潟県内のコロナ感染の状況も落ち着いてきました。少しだけですが、ほっとしたところです。

しかしながら、東京では今月の24日までは「リバウンド防止措置期間」ということで、都民や事業者に安全対策を求めるとしています。飲食店や飲食関連施設には営業時間の制限と人数の制限、イベント関連施設（これはイベントを開催する場合がある施設ということ）、映画館や体育館、野球場、ゴルフ場、百貨店やスポーツクラブなどが対象で、生活必需品を販売する場合を除き営業時間を午後9時までにするよう協力を依頼することです。その他、学校や職場への出勤など、感染対策は引き続き必要となりますが、解除によって徐々に私たちの暮らしは大きく変化していきそうです。

南ロータリークラブでも例会会場の三条信用金庫様より、学校形式であれば昼食を再開しても良いのではないかとお声をかけて頂きました。また、先程の理事会において急遽ではありますが、本日より会場での昼食を再開しても良いのではないかとのご意見をいただきました。今後も感染拡大防止を引き続き徹底し、リバウンドを警戒しながら、慎重に日常生活を戻していきたいと考えております。次週は秋の味覚を堪能する豪華弁当を用意して、まだ黙食にはなってしまいますが、皆さんでゆっくりと、(あんまりゆっくりではまた困るのかな?)舌鼓を打てたらなと思っています。

月が替わって秋になりましたので、今日は秋の味覚「サンマ」についてお話しします。とは言っても「サンマ」のウンチクではありません。古典落語でご馴染みの「目黒のサンマ」についてのエピソードです。

……とある平穏な日々の中、何もすることがないので、お殿様が目黒に鷹狩りに出かけました。当時の目黒は現在の高級住宅街と思いきり違って、キジ撃ちやイノシシ狩りができるほど草深い山林が広がっていました。

狩りを楽しんだお殿様はお腹が減ってきたのですが、お供の者が食事の用意をしていませんでした。すると近くで魚を焼くいい匂いがしてきて、「この匂いは何じゃ」と問われると、「これはサンマと申しまして、庶民が口にする魚でございます」とお供の者が答えました。空腹なお殿様は我慢ができず、無理やりサンマを食する準備をさせました。

結果、大満足で城へ帰ったお殿様はその時の味が忘れられず、どうしてもということで、城内でもサンマを出させたのですが、もう既に旬を過ぎてしまっていて、拳の果てには安全のためにと、小骨を取ったり、あれやこれやとしているうちに、姿かたちはあの時のサンマとは似ても似つかないものになってしまいました。しぶしぶ口にしたお殿様はやはり満足できず、その時の一言が、「サンマは目黒に限る」だったとか……

これが落語「目黒のサンマ」のだいたいの内容ですが、実はこの話のお殿様とは八代将軍 徳川吉宗のことだそうです。「いかに旬が大切か」という日本人の粋が伝わる話とも言えます。

ちなみに今日10月4日はサンマではなく、イワシの日だそうです。大阪おさかな健康食品協議会が制定した「イ(1)ワ(0)シ(4)」の語呂合わせです。大阪湾でイワシが大量に獲れることや、安くておいしいヘルシーフーズとして認識してもらう目的で制定されたそうです。

以上で本日の挨拶にしたいと思います。

◆本日の出席：44名中30名 ◆通算出席率：77.79%

◆先週のメイクアップ：

▷9/30 三条東RCへ(卓話) 木村譲君

## ◆幹事報告 木村 譲 幹事

◇在東京・国際ロータリー関連各事務局の10月以降の勤務体制について

ロータリー日本事務局、米山奨学会、ロータリーの友の各事務局は10月以降もリモート勤務を継続します

◇2021年10月のロータリーレート

1\$=112円 (9月のレート 1\$=110円)



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール メータ (インド)  
第2560地区ガバナー 高尾 茂典 (新潟中央)  
第4分区分ガバナー補佐 外山 晴一 (三条北)  
会長 平松 修之  
幹事 木村 譲  
SAA 永井 篤利

事務局  
〒955-8666 三条市町2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL0256-35-3477  
FAX0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp

## ニコニコボックス

10/4 9,000円 今年度累計 76,000円

平松会長「本日第100代目の総理大臣として岸田さんが選出され、新内閣が発足します。とにかく頑張って貰いたいと思います」

渡邊久君「曾孫（ひまご）が三人となりました」

西潟君「女子プロゴルファーの稲見萌寧さんは完璧主義者とのことで、3ヤード右にそれとシャンクが出たと思うし、3ヤード左にそれとオービーと思うとのこと。いやになっちゃいます」

渡辺俊君「お誕生祝ありがとうございます」

木村幹事、銅冶君、坪井君「BOXに協力します」

塩入君「BOXにご協力ありがとうございました」

### ◆理事役員会報告

日時：2021年10月4日（月）12：10～12：25

▶会場：三条信用金庫3階ロビー

▶出席：12名中8名

議事1) 10月以降の例会運営について…… 承認

議事2) 赤い羽根共同募金について…… 承認

(1) 感染症対策を徹底して、10月より例会会食を再開する。11月に親睦例会の企画を検討する

(2) 例年同様2万円をスマイルBOX会計より寄付する

## 今後の例会予定

10月18日（月）通常例会「米山月間」

米山奨学生卓話 李恒さん

（長岡技術科学大学大学院）世話クラブ：三条RC

10月25日（月）通常例会「ライラ報告」

太田義人青少年奉仕委員長

ライラ研修生：三条信用金庫 川崎瑞貴様

三条信用金庫 亀倉有稀様

## 感染症拡大対策にご協力ください

- ✓ 例会場では必ずマスクを。正しく着用（不織布推奨）
- ✓ アルコール消毒液での手指消毒を
- ✓ 受付で検温を行なっています。ご協力ください
- ✓ 食事は「黙食」で。話すときはマスクを
- ✓ 体調の悪い時、感染が危惧されるときは欠席を（出席は考慮します。御相談ください）



## 「ロータリーの友」10月号より



坪井 康紀 クラブ  
会報副委員長

10月は米山月間であり、「よねやま」を知ろう！という特集記事が載っており、「米山梅吉」の経歴や米山梅吉記念館等が紹介されています。

個人的に目が止まったのは、『友愛の広場』の“90歳直前のホールインワン”と、『卓話の泉』の“薬の使い方”です。興味ある方はご一読ください。

勉強になる話としては、“グローバルとローカル－現代世界の中の「地方創生」”という前千葉大学理事・副学長・山田賢氏の講演が掲載されておりました。最後のまとめを抜粋します。

\*\*\*\*\*

グローバルへの志向とローカルへの志向はしばしば対極であるかのように見なされますが、これは大変なミスリードです。



ローカルな状況をしっかりと把握した上でのグローバル志向でなければ、それは結局、反発を生じさせることになるでしょう。今、世界中でグローバル・エリートへの不信と反発が政治的な不安定を誘引していることに照らしてみれば、それは明らかであるように思われます。

一方、ローカルに立脚する運動、「地方創生」は、グローバルな動向と無縁に成立するわけではありません。例えばSDGsのように、世界的に共有される価値観の下に、地域からの発信を行わなければ、それは世界市場でも受け入れられないかもしれません。

そう考えれば、「地方創生」の要ともいえる地域アイデンティティーの創出と地域のブランド化も、決して独り善がりではなく、その「独自性」は世界に受けられるものでなければならないはずですが、これは言うはやすく、とても難しいことです。

しかし私たちは、「地方から世界へ」発信できる地域社会ならではの独自の魅力を、まさに今、自分たちが住んでいる地域から掘り起こし、探求する努力を続けていくことが大切なのです。

（2020年2月9日 国際ロータリー第2790地区地区大会記念講演要旨より）

\*\*\*\*\*

以上、10月号の紹介でした。

出典：「ロータリーの友」2021年10月号

縦組4ページより

『グローバルとローカル－現代世界の中の「地方創生」』  
（前千葉大学理事・副学長 山田賢）